

キラリ★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



電気火災を未然に防止

点検対象	集合住宅	点検地区	札幌市
キラリポイント	定期調査で集合住宅の各階を回っている時に、4階の幹線分岐ボックスの焦げ付きを 発見 し、直ちに管理会社に報告しました。 また、共用電灯盤の測定をすると、2回路が絶縁不良でした。		

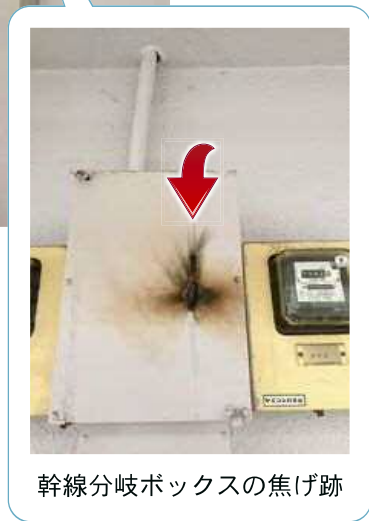
■事故概要と防止対策

集合住宅の場合は、分岐ボックス内で幹線から分岐して各部屋へ配線されていますが、配線の接続部のテープ巻きが不十分だと経年劣化して絶縁を保てなくなりショートや漏電したりします。

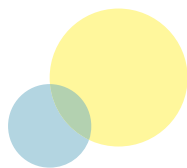
今回はビニールテープ巻きの処理だったためにテープ巻きが不十分で、そこが劣化してショート状態になり微電流が流れ続けて焦げ付いたと思われます。

通常であればショートして開閉器が動くため、このようなことはおきにくいのですが、今回のような焦げ付きは稀なケースです。

写真のような焦げ跡が付くほどの状態は、異臭がしていたと思われますので、いつもと様子が違う場合はまわりを注意して見るのが大切です。



幹線分岐ボックスの焦げ跡



あぶない!



■技術者からのワンポイントアドバイス

電気は目に見えないため、間違った使い方をしたり不具合があると大変危険です。ご家庭などの低圧電気は4年に1回「電気設備の定期調査」を実施して漏電測定を行っています。

電気設備に焦げ付き等の異常があったり、金属部や蛇口等に触るとビリビリと感じた場合、集合住宅では管理会社や管理人、または電力会社や弊協会などの登録調査機関、電気工事会社にご相談ください。



札幌支部 調査1課
金子 英克